

令和8年度富山県食品衛生監視指導計画（案）に関する意見募集結果

- 1 意見募集期間 令和8年2月24日（火）～令和8年3月13日（金）
- 2 意見提出件数 4件
- 3 意見の概要 意見の大部分は施策への質問・要望であった。（詳細は下表のとおり。）

No.	ご意見の項目	ご意見等の概要	ご意見に関する考え方
1	第3 監視指導の実施に関する事項 1 監視指導事項	2026年2月に県内の医療施設においてノロウイルスによる食中毒が発生しました。医療施設への監視指導は1の(2)の「ア 大規模調理及び製造施設等の監視指導」に該当するのでしょうか。 上記内容の通りである場合は、医療施設も明記し監視指導をお願い致します。	病院の給食施設については、「ア 大規模調理及び製造施設等の監視指導」の対象に含まれており、ご意見を踏まえ、本文中に明記します。 病院以外の医療施設の給食施設のうち、調理業務を外部事業者に委託している施設については、Bランク監視施設として監視指導を行います。
2	第3 監視指導の実施に関する事項 1 監視指導事項	近年、県内で魚介類を原因とする食中毒が多発していることから、新たに生鮮魚介類取扱施設の監視指導を追加されたことに敬意を表します。 また、生マグロによるクドアによる食中毒が発生したことを踏まえ、クドア検査に生マグロを追加されたことにも敬意を表します。	生鮮魚介類を取り扱う事業者に対し、鮮度確認や低温管理の徹底、冷凍処理の有効性や処理技術の普及啓発等を実施してまいります。
3	第3 監視指導の実施に関する事項 別表	今年度、生鮮魚介類取扱施設の監視指導を追加された部分についての監視ランクは何処に該当するのでしょうか。	監視ランクとしてはAランクからDランクのいずれにも該当する業種があります。例えば、Aランクにおいては前年度に食中毒の原因となった施設、Bランクにおいては飲食店営業（すし）、Cランクにおいては魚介類販売業、Dランクにおいては飲食店営業（軽飲食）などが該当します。
4	第3 監視指導の実施に関する事項 別紙	今年度、生鮮魚介類の検体数が70と昨年より62増えています。昨年より増やした魚介類とクドア検査の割合を教えてください。	令和7年度はヒラメ8検体を計画していました。 令和8年度はヒラメ62検体、生マグロ8検体の検査を計画しています。

※ 意見の受付順